

月報くん取扱説明書

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行う事は禁じられております。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された内容とは一部異なる事があります。
- 本書の内容に関しましては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら弊社までご連絡ください。
- 本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の仕様の際は、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。
- 当製品は、記憶されたデータにつきましては、バックアップ機能を有しており、装置の故障等の際のデータにつきましては、SDカードに保存されますが、万一のデータ消失、破損に備えてのバックアップを推奨いたします。
 - 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な責任があった場合を除き、本製品の購入代金と同額とさせていただきます。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を補修し交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

月報くんを使用するにあたって必要な機器・アプリ等及びインストール方法.....	3
必要な機器の選定	3
スマートフォン・タブレットの操作方法の基本.....	4
画面上のボタン	6
月報くんの起動	7
月報くんのメイン画面	9
初期設定	10
点検者情報の登録	10
事業場の登録・編集・削除	18
事業場を新規登録する	20
事業場を編集する	30
事業場を並替え	31
事業場を削除する	33
事業場データは印刷される帳票の以下の部分に反映されます。.....	34
電力会社の設定を行います	39
システム設定を行います	40
点検作業を実施する	42
点検事業場を選択する	43
月次点検の該当月かどうかを表示する	44
点検済み事業場の表示方法	45
点検日時の入力	47
電力量計画面を入力する	49
高圧受電盤を入力する	53
電力会社検針を入力する	54
メータ交換画面	58
「点検日を採用する」と「確定日を採用する」の違い.....	62
トランスデータを入力する	72
点検箇所	76
点検項目一覧	78
記事の画面	85
記事の複写と貼付の機能	86
定型文の選択	87
定型文の登録・編集	88
発電機の入力	89
常用発電機の入力	89
非常用発電機の入力	92
非常用発電機の項目一覧	92
非常用発電機の項目一覧(続き)	92
結果報告書の作成	94
結果報告書 1 画面	95
印刷画面	97
印刷設定	98
プリンタ設定画面	100
印刷の実行	101
現場写真	111
その他の機能	118

トランスデータを入力する

The form contains the following fields and callouts:

- ① トランス (表示中のデータ) - Points to the '1/1' indicator in the top right corner.
- ② トランス (トランスの総数) - Points to the '1/1' indicator.
- ③ トランス名 - Points to the '変圧器名' (Transformer Name) field.
- ④ 相 - Points to the '相' (Phase) dropdown menu.
- ⑤ トランス容量単位 - Points to the 'KVA' unit field.
- ⑥ トランス容量 - Points to the capacity input field.
- ⑦ 電圧 - Points to the '電圧' (Voltage) section.
- ⑧ 電流 R - Points to the 'R' current input field.
- ⑨ 電流 S - Points to the 'S' current input field.
- ⑩ 電流 T - Points to the 'T' current input field.
- ⑪ 温度 - Points to the '温度' (Temperature) input field.
- ⑫ I g - Points to the 'Ig(mA)' input field.
- ⑬ 定格 - Points to the '定格' (Rated) input field.

名称	機能
①トランス (表示中のデータ)	現在データを表示しているトランスの先頭からの番号を表示します。
②トランス (トランスの総数)	登録しているトランスの総数を表示します。
③トランス名	現在表示しているトランスの呼称を表示します。 呼称はトランスの用途などを入力することができます。
④相	トランスの相を入力します。
⑤トランス容量単位	トランスの容量の単位を入力します。 初期値は「kVA」が表示されます。 単位を変更すると、帳票に出力される単位も変わります。
⑥トランス容量	トランスの容量を入力します。
⑦電圧 ※帳票の選択で、印刷帳票2または印刷帳票3を選択した場合は、下記「印刷帳票2、3の場合の電圧」をご確認ください。	トランスの電圧を入力します。 最小値と最大値を入力することで「100/200」と印刷することが出来ます。 どちらかの項目を空にすると「200」スラッシュ[/]は出力されません。
⑧電流 R	トランスの電流 R を入力します。
⑨電流 S	トランスの電流 S を入力します。 タイトル名を「N」に変更することも可能です。(帳票にも N と印刷されます)
⑩電流 T	トランスの電流 T を入力します。

⑪温度	トランスの温度を入力します。
⑫ I o	トランスの I g を入力します。
⑬その他	通常は、定格電流を入力する事が可能です。 タイトルを変更すると定格電流以外のデータを入力する事ができるようになります。

印刷帳票 2、3 の場合の電圧入力

変圧器 1 / 1
変圧器名
電灯第1バンク
相
容量
電圧
RS: V
ST: V
TR: V
電流 「~以下」と表示する
R 0
S -
登録

RS・ST・TR別に電圧の入力ができるようになります。

トランスで入力されたデータは以下の帳票で使用されます。

点検測定記録表

電気工作物巡視点検月報. 2006年7月17日. 電気管理技術者 東京 第 号. 検出電力 315 kW, 契約電力 500 kVA. 電圧 (kV): 6.6, 電流 (A): 19, 20, 15. 電力 (kW): 141,830, 110,880. 電力 (kWh): 113,120, 87,939. 電力 (kVA): 126.00, 120.00. 電力 (MW): 0.141830, 0.110880. 電力 (MVA): 0.126000, 0.120000. 電力 (MWh): 0.113120, 0.087939. 電力 (MkVA): 0.126000, 0.120000. 電力 (MVA): 0.126000, 0.120000.

印刷帳票 1

電気工作物通常点検報告. 2007年1月10日. 契約電力 315 kW, 契約電力 388 kW, 契約電力 315 kW (18年8月). 検出電力 315 kW, 契約電力 388 kW. 電力 (kW): 176, 269, 346, 454, 478, 481, 487, 451, 358, 318, 228, 215. 電力 (kVA): 162.240, 14.970, 15.236, 15.693, 17.095, 19.954, 18.957, 18.654, 14.544, 12.892, 14.186, 15.473. 電力 (MWh): 176, 269, 346, 454, 478, 481, 487, 451, 358, 318, 228, 215. 電力 (MVA): 162.240, 14.970, 15.236, 15.693, 17.095, 19.954, 18.957, 18.654, 14.544, 12.892, 14.186, 15.473.

印刷帳票 3

平成 19 年 7 月 電気設備点検表. 電気管理技術者 第 号. 契約電力 315 kW, 契約電力 500 kVA. 電圧 (kV): 6.6, 電流 (A): 19, 20, 15. 電力 (kW): 141,830, 110,880. 電力 (kWh): 113,120, 87,939. 電力 (kVA): 126.00, 120.00. 電力 (MW): 0.141830, 0.110880. 電力 (MVA): 0.126000, 0.120000. 電力 (MWh): 0.113120, 0.087939. 電力 (MkVA): 0.126000, 0.120000. 電力 (MVA): 0.126000, 0.120000.

印刷帳票 2

電気工作物通常点検報告. 2007年1月10日. 契約電力 315 kW, 契約電力 388 kW, 契約電力 315 kW (18年8月). 検出電力 315 kW, 契約電力 388 kW. 電力 (kW): 176, 269, 346, 454, 478, 481, 487, 451, 358, 318, 228, 215. 電力 (kVA): 162.240, 14.970, 15.236, 15.693, 17.095, 19.954, 18.957, 18.654, 14.544, 12.892, 14.186, 15.473. 電力 (MWh): 176, 269, 346, 454, 478, 481, 487, 451, 358, 318, 228, 215. 電力 (MVA): 162.240, 14.970, 15.236, 15.693, 17.095, 19.954, 18.957, 18.654, 14.544, 12.892, 14.186, 15.473.

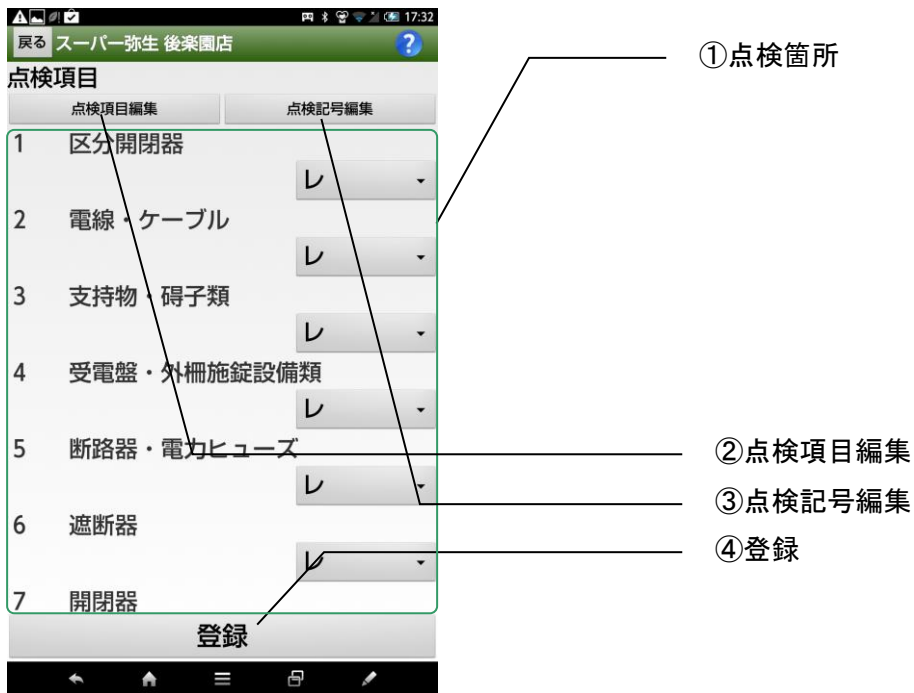
印刷帳票 4

点検測定記録表

事業場名		検印		電気管理技術者		印	
点検年月日	年	月	日	天候	温度	℃	湿度
高圧受電盤 (C / 検計) 電力量計 (進率×) (検電之) 電圧 (KV) 電圧 区 分 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 最大電力 (kW) R-S S-T T-R 今日指示 前日指示 電流 (A) 力率 電力量 (kWh) 力率 (%) R S T 電力量合計 kWh 一日平均 kWh							
相	kVA	相	kVA	相	kVA	相	kVA
電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V
R	R	R	R	R	R	R	R
S	S	S	S	S	S	S	S
A	A	A	A	A	A	A	A
温度	℃	温度	℃	温度	℃	温度	℃
Io	mA	Io	mA	Io	mA	Io	mA
区分	点検対象	良否	区分	点検対象	良否		
1	区分開閉器	良	16	配電盤、分電盤	良		
2	電線、ケーブル	良	17	開閉器箱	良		
3	支持物、端子箱	良	18	配線 (屋外)	良		
4	受電盤、外箱蓋蓋設備類	良	19	配線 (屋内)	良		
5	断路器、電力ヒューズ	良	20	接地線	良		
6	遮断器	良	21	配線器具	良		
7	開閉器	良	22	短絡器具	良		
8	計器用変圧器、変流器	良	23	高圧コンデンサ	良		
9	避雷器	良	24	電動機	良		
10	接地線電器、漏電検電器	良	25	蓄電池	良		
11	高圧カットアウト	良	26	電熱器	良		
12	変圧器	良	27	蓄電池設備	良		
13	電力コンデンサ、リアクトル	良	28				
14	接地線	良	29				
15			30				
記 事							

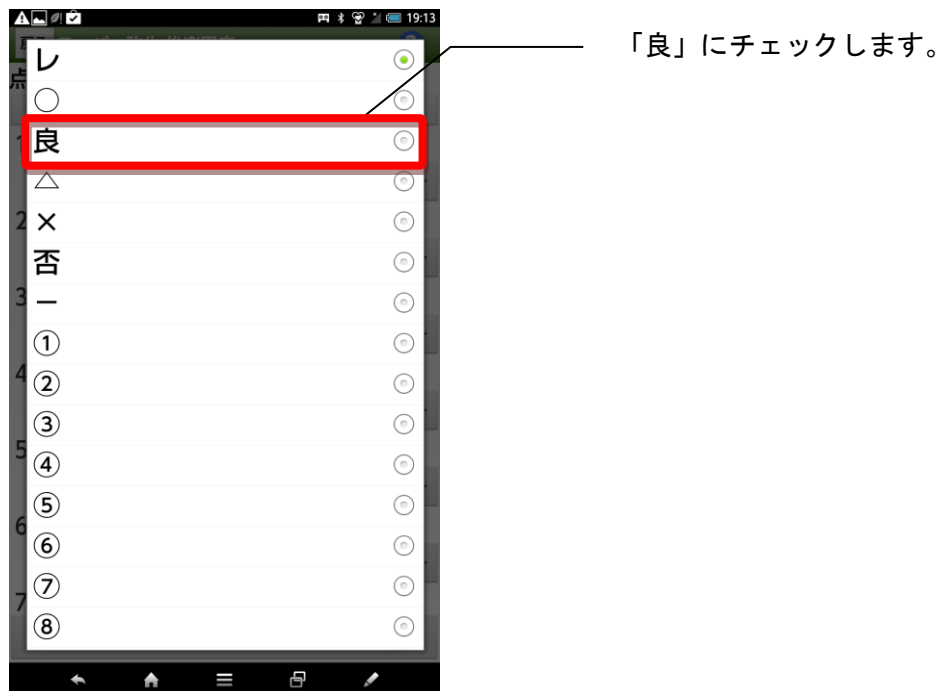
印刷帳票 5

点検箇所



名称	機能
① 点検箇所	各設備の点検結果を入力します。
② 点検項目編集	点検箇所の項目を編集します。
③ 結果項目編集	結果項目を編集します。
④ 登録	点検データを保存してメイン画面を表示します。

受電設備の区分開閉器の状態が「良」の場合



点検箇所に異常がある場合



「①」にチェックします。
特記事項の欄に異常の詳細を
記載してください。

同様に「②」「③」「④」「ー」「 (空白)」等も選択できます。

点検項目一覧

印刷帳票 1

1	受配電設備・電線および支持物	レ	20	受配電設備・接続部の過熱	レ
2	受配電設備・ケーブル	レ	21	受配電設備・異音異臭・損傷汚損等	レ
3	受配電設備・PAS.UGS	レ	22	負荷設備・分電盤制御盤・KS.MCB.MC	レ
4	受配電設備・開閉装置 DS.LBS.OS	レ	23	負荷設備・分電盤制御盤・端子等	レ
5	受配電設備・開閉装置 CB.PF.PCS	レ	24	負荷設備・電動機	レ
6	受配電設備・母線	レ	25	負荷設備・低圧コンデンサ	レ
7	受配電設備・変圧器	レ	26	負荷設備・接地線	レ
8	受配電設備・VT・CT・ZCT	レ	27	負荷設備・配線	レ
9	受配電設備・進相用コンデンサ	レ	28	負荷設備・照明	レ
10	受配電設備・避雷器	レ	29	負荷設備・溶接装置	レ
11	受配電設備・配電盤	レ	30	負荷設備・電熱装置	レ
12	受配電設備・表示灯	レ	31	負荷設備・漏電火災警報器	レ
13	受配電設備・保護継電器	レ	32	負荷設備・漏電遮断機	レ
14	受配電設備・接地線	レ	33	負荷設備・機器及び接続部の過熱	レ
15	受配電設備・施錠・受電室	レ	34	負荷設備・異音異臭・損傷汚損等	レ
16	受配電設備・施錠・キュービクル	レ	35	負荷設備・絶縁監視装置	レ
17	受配電設備・施錠・高圧配電函	レ	36	負荷設備・問診	レ
18	受配電設備・保護柵の状態	レ	37	非常用予備発電機・原動機	レ
19	受配電設備・機器本体の過熱	レ	38	非常用予備発電機・発電機	レ
20	受配電設備・接続部の過熱	レ	39	非常用予備発電機・配電盤	レ
			40	非常用予備発電機・燃料タンク	レ
			41	蓄電池	レ

点検帳票 2

1	電線路・開閉器	レ
2	電線路・支持物	レ
3	電線路・電線	レ
4	電線路・碍子类	レ
5	電線路・ケーブル	レ
6	電線路・避雷器	レ
7	キュービクル/電気室・計器用変成器	レ
8	キュービクル/電気室・開閉器・断路器	レ
9	キュービクル/電気室・電力ヒューズ	レ
10	キュービクル/電気室・遮断機	レ
11	キュービクル/電気室・継電器・計器	レ
12	キュービクル/電気室・碍子类	レ
13	キュービクル/電気室・配線・電線支持物	レ
14	キュービクル/電気室・変圧器	レ
15	キュービクル/電気室・高圧コンデンサ	レ
16	キュービクル/電気室・高圧リアクトル	レ
17	キュービクル/電気室・接地装置	レ
18	キュービクル/電気室・施錠等	レ
19	使用場所・動力回路	レ
20	使用場所・電灯回路	レ
21	使用場所・使用機器	レ
登録		

点検帳票 3

1	受変電設備・電線・支持物	レ
2	受変電設備・ケーブル	レ
3	受変電設備・開閉器	レ
4	受変電設備・避雷器	レ
5	受変電設備・断路器	レ
6	受変電設備・遮断機	レ
7	受変電設備・電力ヒューズ	レ
8	受変電設備・計器用変成器	レ
9	受変電設備・保護継電器	レ
10	受変電設備・変圧器	レ
11	受変電設備・電力コンデンサ	レ
12	受変電設備・直列リアクトル	レ
13	受変電設備・配電盤	レ
14	受変電設備・接地装置	レ
15	負荷設備・電動機	レ
16	負荷設備・電力応用機器	レ
17	負荷設備・電熱装置	レ
18	負荷設備・電気溶接機	レ
19	負荷設備・照明設備	レ
20	負荷設備・配線・配線機器	レ

21	負荷設備・その他電気機器	レ
22	蓄電設備・充電機器	レ
23	負荷設備・蓄電池	レ
24	発電設備・原動機関係	レ
25	負荷設備・発電機関係	レ
26	その他	レ
登録		

点検帳票 4

1	受配電設備・電線および支持物	レ
2	受配電設備・ケーブル	レ
3	受配電設備・PAS.UGS	レ
4	受配電設備・開閉装置 DS.LBS.OS	レ
5	受配電設備・開閉装置 CB.PF.PCS	レ
6	受配電設備・母線	レ
7	受配電設備・変圧器	レ
8	受配電設備・VT・CT・ZCT	レ
9	受配電設備・進相用コンデンサ	レ
10	受配電設備・避雷器	レ
11	受配電設備・配電盤	レ
12	受配電設備・表示灯	レ
13	受配電設備・保護継電器	レ
14	受配電設備・接地線	レ
15	受配電設備・施設・受電室	レ
16	受配電設備・施設・キュービクル	レ
17	受配電設備・施設・高圧配電函	レ
18	受配電設備・保護柵の状態	レ
19	受配電設備・機器本体の過熱	レ
20	受配電設備・接続部の過熱	レ
21	受配電設備・異音異臭・損傷汚損等	レ
22	負荷設備・分電盤制御盤・KS.MCB.MC	レ
23	負荷設備・分電盤制御盤・端子等	レ
24	負荷設備・電動機	レ
25	負荷設備・低圧コンデンサ	レ
26	負荷設備・接地線	レ
27	負荷設備・配線	レ
28	負荷設備・照明	レ
29	負荷設備・溶接装置	レ
30	負荷設備・電熱装置	レ
31	負荷設備・漏電火災警報器	レ
32	負荷設備・漏電遮断機	レ
33	負荷設備・機器及び接続部の過熱	レ
34	負荷設備・異音異臭・損傷汚損等	レ
35	負荷設備・絶縁監視装置	レ
36	負荷設備・問診	レ
37	非常用予備発電機・原動機	レ
38	非常用予備発電機・発電機	レ
39	非常用予備発電機・配電盤	レ
40	非常用予備発電機・燃料タンク	レ
41	蓄電池	レ

印刷帳票 5

1	区分開閉器	レ	▼	21	配線器具	レ	▼
2	電線・ケーブル	レ	▼	22	照明器具	レ	▼
3	支持物・碍子類	レ	▼	23	低圧コンデンサ	レ	▼
4	受電盤・外柵施錠設備類	レ	▼	24	電動機	レ	▼
5	断路器・電力ヒューズ	レ	▼	25	溶接機	レ	▼
6	遮断器	レ	▼	26	電熱器	レ	▼
7	開閉器	レ	▼	27	蓄電池設備	レ	▼
8	計器用変圧器・変流器	レ	▼	28	漏電監視システム	レ	▼
9	避雷器	レ	▼	29	非常用発電機	レ	▼
10	地絡継電器、変流器	レ	▼	30		レ	▼
11	高圧カットアウト	レ	▼				
12	変圧器	レ	▼				
13	電力コンデンサ、リアクトル	レ	▼				
14	接地線	レ	▼				
15		レ	▼				
16	配電盤、分電盤	レ	▼				
17	開閉器類	レ	▼				
18	配線(屋外)	レ	▼				
19	配線(屋内)	レ	▼				
20	接地線	レ	▼				

点検測定記録表

事業場名		検印		電気管理技術者		印			
点検年月日	年	月	日	天候	温度	℃	湿度	%	
高圧受電盤		C / 棒計		電力		計(棒定×)		(総計電力)	
電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	電圧 (kV)	
R-S	S-T	T-R	(W)	①	②	③	④	⑤	
今回指示		前回指示		電力 (kW)		電力 (kW)		最大電力 (kW)	
電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	電流 (A)	
R	S	T	(%)	電力率 (kWh)	電力率 (kWh)	電力率 (kWh)	電力率 (kWh)	電力率 (kWh)	
電力率合計		kWh		一日平均		kWh			
相	kVA	相	kVA	相	kVA	相	kVA	相	kVA
電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	電圧 V	
R	S	R	S	R	S	R	S	R	
A	T	A	T	A	T	A	T	A	
電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	電流 S	
A	T	A	T	A	T	A	T	A	
温度	℃	温度	℃	温度	℃	温度	℃	温度	℃
Io	mA	Io	mA	Io	mA	Io	mA	Io	mA
区分	点検対象	良否	区分	点検対象	良否				
1	変圧器	○	16	変圧器	○				
2	母線	○	17	母線	○				
3	断路器	○	18	断路器	○				
4	遮断機	○	19	遮断機	○				
5	保護装置	○	20	保護装置	○				
6	接地装置	○	21	接地装置	○				
7	避雷針	○	22	避雷針	○				
8	計器	○	23	計器	○				
9	制御盤	○	24	制御盤	○				
10	変圧器	○	25	変圧器	○				
11	母線	○	26	母線	○				
12	断路器	○	27	断路器	○				
13	遮断機	○	28	遮断機	○				
14	保護装置	○	29	保護装置	○				
15			30						
記事									

印刷帳票 5

記事の画面



名称	機能
①記事	記事を入力します。記事データは10行入力することができます。それぞれの項目に入力したデータが帳票の10行にそれぞれ印刷されます。
②定型文	定型文データを参照して定型文を使用します。
③定型文編集	定型文の登録、編集を行います。
④複写	記事データをメモリに複写します。
⑤貼付	複写で取り込んだデータを指定の場所に貼り付けます。
⑥登録	データを登録して点検メニュー画面に戻ります。

記事の複写と貼付の機能



複写元の複写ボタンを指定します。



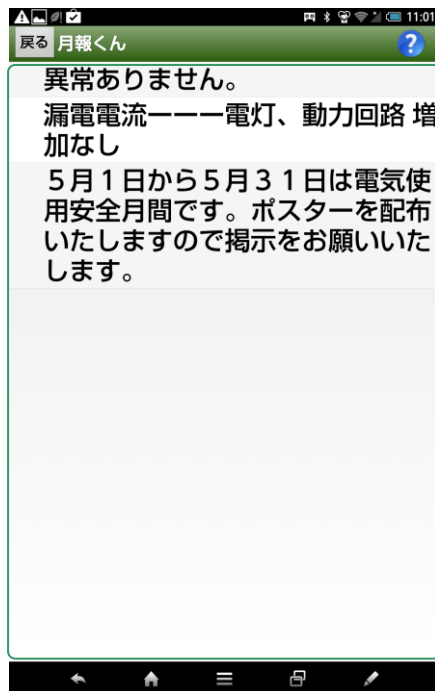
貼り付ける行の「貼付」ボタンをタップします。

複写した文書が貼り付けられます。

定型文の選択



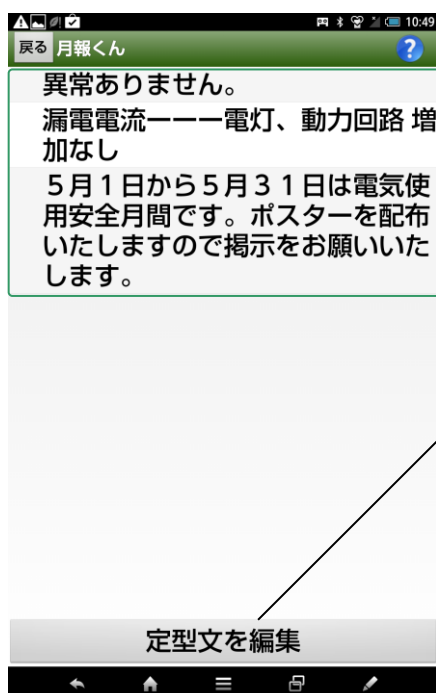
定型文を読み込む場合は、定型文をタップします。



①定型文リスト

名称	機能
①定型文リスト	登録されている定型文が表示されます。印刷する定型文をタップしてください。

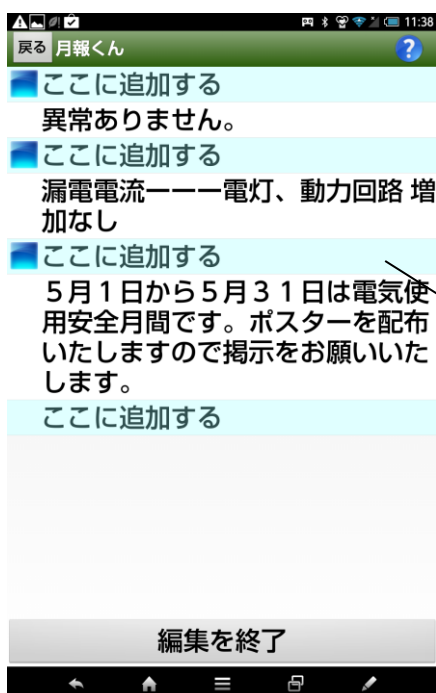
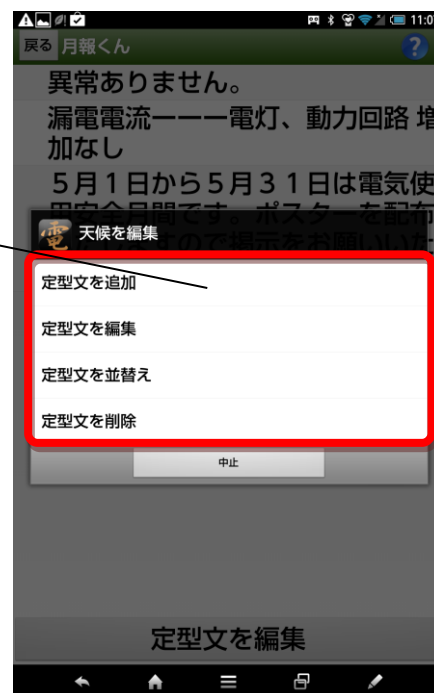
定型文の登録・編集



登録済みの定型文が表示されます。

定型文を編集をタップします。

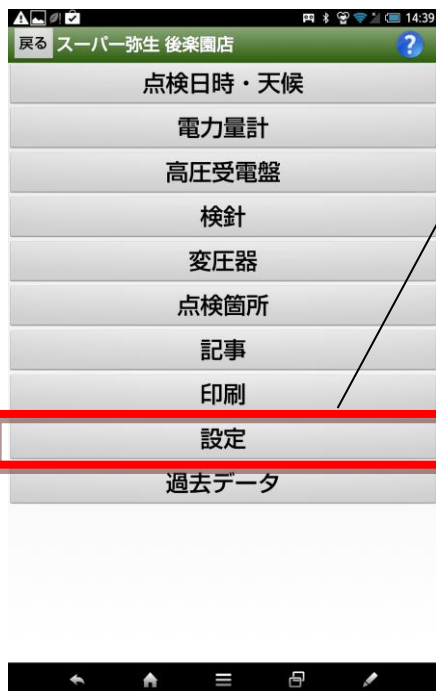
「定型文を追加」、「定型文を編集」、「定型文を並替え」、「定型文を削除」をタップします。



「定型文を追加」をタップすると「ここに追加する」が表示されます。定型文の追加、編集、並替え、削除の操作は、事業場を追加、編集、並替え、削除と同じです。

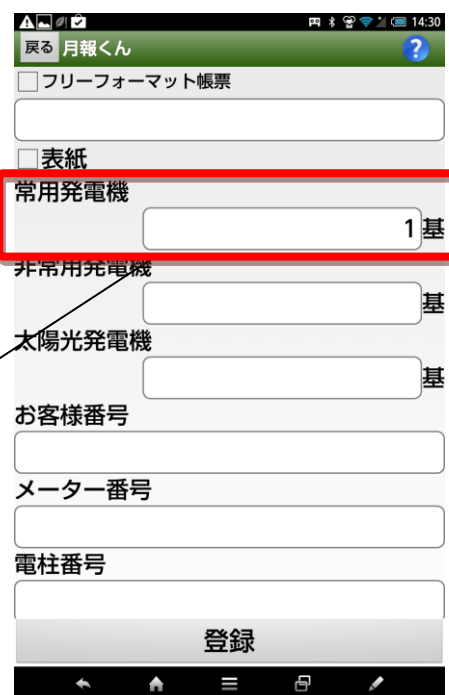
発電機の入力

常用発電機を登録する



設定をタップする。

常用発電機の基数を設定する。
登録数の上限は5基です。



常用発電機のデータを入力する画面に移行するボタンが表示される。



常用発電機の入力

常用発電機

①発電機仕様

内燃機関

出力

回転数

総排気量

発電機

出力

電圧

周波数

力率

②点検・測定成績

設置場所

水の浸透等

周囲の状況

区画等の破損

換気

照明

排気筒

変形破損

貫通部

蓄電池

電解液

充電電圧

蓄電池電圧

①発電機仕様—①内燃機関—出力

①発電機仕様—②内燃機関—回転数

①発電機仕様—③内燃機関—総排気量

①発電機仕様—④発電機—出力

①発電機仕様—⑤発電機—電圧

①発電機仕様—⑥発電機—周波数

①発電機仕様—⑥発電機—力率

②点検・測定成績—①設置場所—水の浸透等

②点検・測定成績—①設置場所—水の浸透等「備考」

②点検・測定成績—②設置場所—周囲の状況

②点検・測定成績—②設置場所—周囲の状況「備考」

②点検・測定成績—③設置場所—区画等の破損

②点検・測定成績—③設置場所—区画等の破損「備考」

②点検・測定成績—④設置場所—換気

②点検・測定成績—④設置場所—換気「備考」

②点検・測定成績—⑤設置場所—照明

②点検・測定成績—⑤設置場所—照明「備考」

②点検・測定成績—⑥排気筒—変形破損

②点検・測定成績—⑥排気筒—変形破損「備考」

②点検・測定成績—⑦排気筒—貫通部

②点検・測定成績—⑦排気筒—貫通部「備考」

②点検・測定成績—⑧蓄電池—電解液

②点検・測定成績—⑧蓄電池—電解液「備考」

②点検・測定成績—⑨蓄電池—充電電圧

②点検・測定成績—⑨蓄電池—充電電圧「備考」

②点検・測定成績—⑩蓄電池—蓄電池電圧

②点検・測定成績—⑩蓄電池—蓄電池電圧「備考」

その他		②点検・測定成績－⑪その他－燃料タンク
燃料タンク	レ	②点検・測定成績－⑪その他－燃料タンク「備考」
		②点検・測定成績－⑫その他－潤滑油タンク
潤滑油タンク	レ	②点検・測定成績－⑫その他－潤滑油タンク「備考」
		②点検・測定成績－⑬その他－冷却水タンク
冷却水タンク	レ	②点検・測定成績－⑬その他－冷却水タンク「備考」
		②点検・測定成績－⑭その他－表示灯
表示灯	レ	②点検・測定成績－⑭その他－表示灯「備考」
		②点検・測定成績－⑮その他－予熱ヒーター
予熱ヒーター	レ	②点検・測定成績－⑮その他－予熱ヒーター「備考」
③試運転記録		
運転の方法		③試運転記録－運転の方法－自動・手動
自動		
試運転開始時間		③試運転記録－試運転開始時間
試運転終了時間		③試運転記録－試運転終了時間
内燃機関		③試運転記録－内燃機関－①回転数
回転数		③試運転記録－内燃機関－①回転数「備考」
		③試運転記録－内燃機関－②潤滑油圧力
潤滑油圧力		③試運転記録－内燃機関－②潤滑油圧力「備考」
		③試運転記録－内燃機関－③潤滑油温度
潤滑油温度		③試運転記録－内燃機関－③潤滑油温度「備考」
		③試運転記録－内燃機関－④冷却水温度
冷却水温度		③試運転記録－内燃機関－④冷却水温度「備考」
発電機		③試運転記録－内燃機関－⑤電圧確立までの時間
電圧確立までの時間		③試運転記録－内燃機関－⑤電圧確立までの時間「備考」
		③試運転記録－内燃機関－⑥電圧
電圧		③試運転記録－内燃機関－⑥電圧「備考」
		③試運転記録－内燃機関－⑦周波数
周波数		③試運転記録－内燃機関－⑦周波数
		③試運転記録－内燃機関－⑧運転累積時間
運転累積時間		
登録		

以上、常用発電機の各項目にデータを入力して下さい。

非常用発電機の入力

非常用発電機の項目一覧

非常用発電機			
発電機名称	<input type="text"/>	①発電機名称	
電圧(V)	<input type="text"/>	②発電機 電圧(V)	
出力(kVA)	<input type="text"/>	③発電機 出力(kVA)	
累積時間(h)	<input type="text"/>	④発電機 累積時間(h)	
①始動前点検		①始動前点検-①制御盤	配線
制御盤		①始動前点検-②制御盤	機器
配線	レ	①始動前点検-③制御盤	表示灯
機器	レ		
表示灯	レ	①始動前点検-④原動機	冷却水
原動機		①始動前点検-⑤原動機	潤滑油
冷却水	レ	①始動前点検-⑥原動機	燃料
潤滑油	レ	①始動前点検-⑦原動機	機器
燃料	レ		
機器	レ	①始動前点検-⑧発電機	刷子
発電機		①始動前点検-⑨発電機	配線
刷子	レ	①始動前点検-⑩発電機	機器
配線	レ		
機器	レ	①始動前点検-⑪蓄電池	外観
蓄電池		①始動前点検-⑫蓄電池	液位
外観	レ	①始動前点検-⑬蓄電池	比重
液位	レ	①始動前点検-⑭蓄電池	電圧
比重	レ	①始動前点検-⑮蓄電池	電圧値(V)
電圧	レ	①始動前点検-⑯蓄電池	均等充電
均等充電	レ	①始動前点検-⑰充電器	
充電器	レ	①始動前点検-⑱負荷	
負荷	レ		
②始動時点検		②始動時点検-①商-発切替	
商-発切替	レ	②始動時点検-②原動機	アイドリング
原動機		②始動時点検-③原動機	音・臭
アイドリング	レ	②始動時点検-④発電機	電機子
音・臭	レ	②始動時点検-⑤発電機	音・臭
発電機			
電機子	レ		
音・臭	レ		

非常用発電機の項目一覧(続き)

<p>③運転中点検</p> <p>原動機</p> <p>油圧 <input type="text" value="レ"/></p> <p>水温 <input type="text" value="MPa"/></p> <p>油温 <input type="text" value="レ"/></p> <p>放熱機 <input type="text" value="レ"/></p> <p>回転速度 <input type="text" value="レ"/></p> <p>保護リレー <input type="text" value="レ"/></p> <p>④停止時点検</p> <p>⑤燃費 (sec/100cc)</p> <p>記事 1 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 2 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 3 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 4 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 5 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 6 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 7 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 8 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 9 行目 <input type="text"/></p> <p>記事 10 行目 <input type="text"/></p>	<p>③運転中点検—①原動機 油圧</p> <p>③運転中点検—②原動機 油圧値 (MPa)</p> <p>③運転中点検—③原動機 水温</p> <p>③運転中点検—④原動機 水温値 (°C)</p> <p>③運転中点検—⑤原動機 油温</p> <p>③運転中点検—⑥原動機 油温値 (°C)</p> <p>③運転中点検—⑦原動機 放熱機</p> <p>③運転中点検—⑧原動機 放熱機温度 (°C)</p> <p>③運転中点検—⑨原動機 回転速度</p> <p>③運転中点検—⑩原動機 回転速度値 (min(-1))</p> <p>③運転中点検—⑪原動機 保護リレー</p> <p>④停止時点検</p> <p>⑤燃費 (sec/100cc)</p> <p>記事 1 行目</p> <p>記事 2 行目</p> <p>記事 3 行目</p> <p>記事 4 行目</p> <p>記事 5 行目</p> <p>記事 6 行目</p> <p>記事 7 行目</p> <p>記事 8 行目</p> <p>記事 9 行目</p> <p>記事 10 行目</p>
---	---

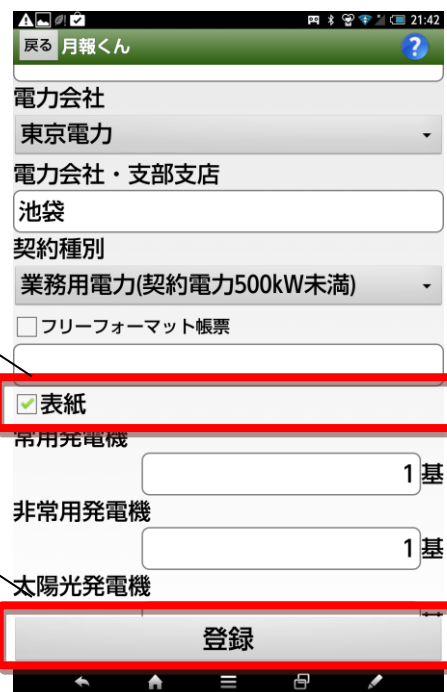
以上、非常用発電機の各項目にデータを入力して下さい。

結果報告書の作成



設定をタップします

表紙にチェックを入れます。



登録ボタンをタップします。



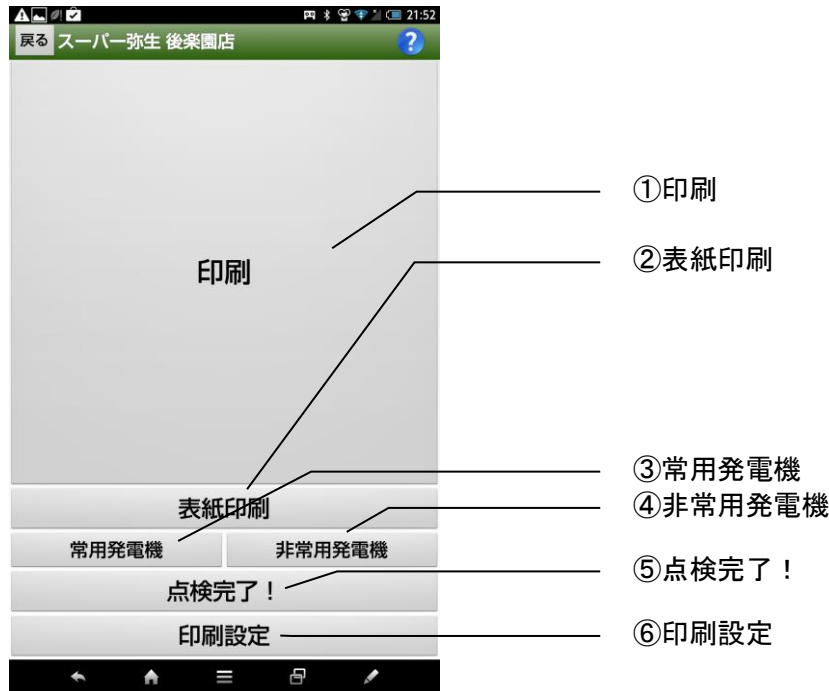
表紙の内容編集ボタンが表示されます。

結果報告書 1 画面

1.引込線設備	<input type="text" value="レ"/>	①引込線設備
改修年月日	<input type="text"/>	①引込線設備 改修年月日
	<input type="text"/>	①引込線設備備考
2.受配電設備	<input type="text" value="レ"/>	②受配電設備
改修年月日	<input type="text"/>	②受配電設備 改修年月日
	<input type="text"/>	②受配電設備備考
3.構内電線路	<input type="text" value="レ"/>	③構内電線路
改修年月日	<input type="text"/>	③構内電線路 改修年月日
	<input type="text"/>	③構内電線路備考
4.電気使用場所	<input type="text" value="レ"/>	④電気使用場所
改修年月日	<input type="text"/>	④電気使用場所 改修年月日
	<input type="text"/>	④電気使用場所備考
5.電圧電流測定	<input type="text" value="レ"/>	⑤電圧電流測定
改修年月日	<input type="text"/>	⑤電圧電流測定 改修年月日
	<input type="text"/>	⑤電圧電流測定備考
6.発電装置	<input type="text" value="レ"/>	⑥発電装置
改修年月日	<input type="text"/>	⑥発電装置 改修年月日
	<input type="text"/>	⑥発電装置備考
点検日時		
特記事項	<input type="text"/>	⑦点検日時 特記事項
お客様との相互連絡	<input type="text"/>	⑧お客様との相互連絡

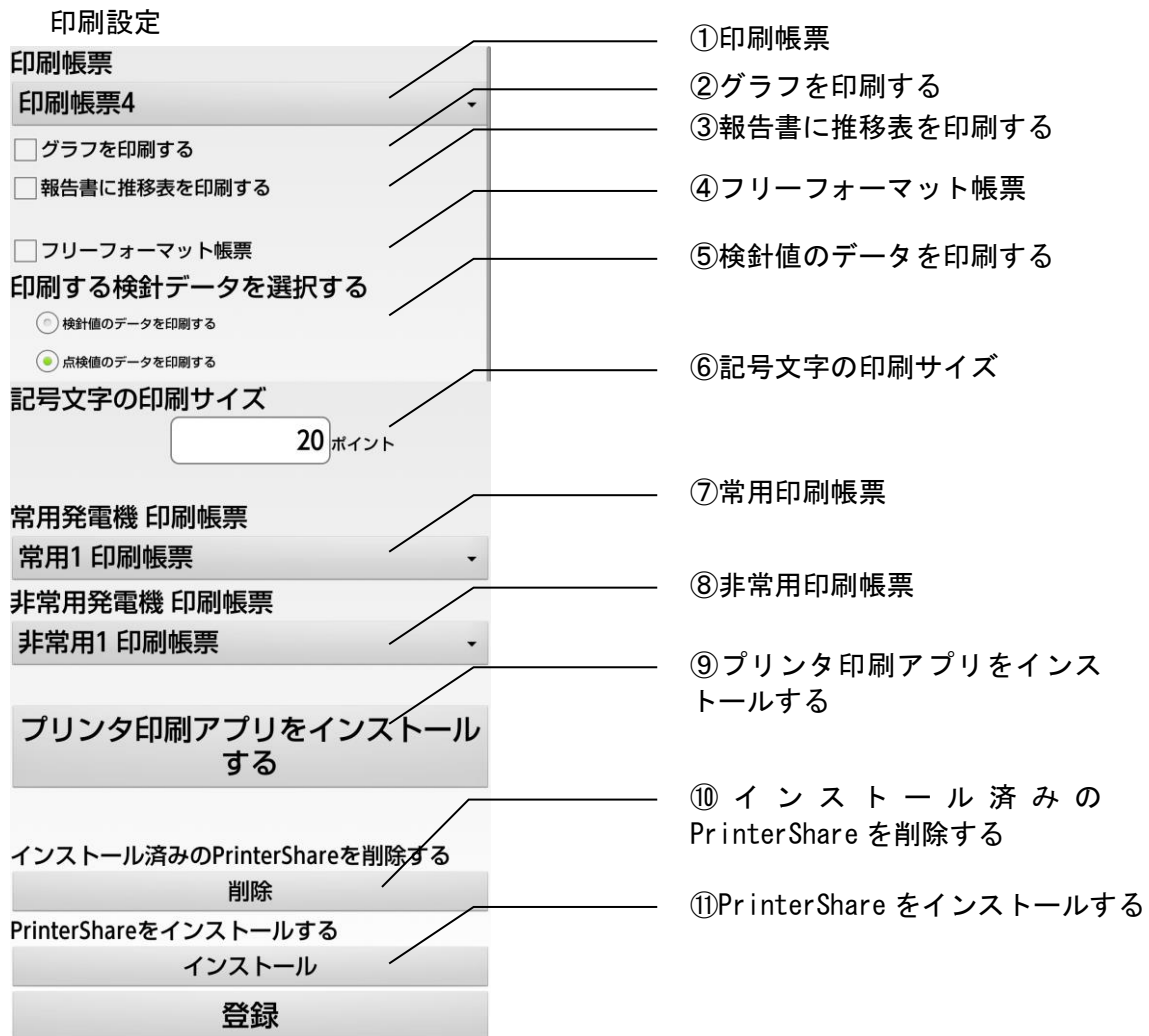
添付資料 電気施設点検記録	枚	添付資料 ①電気施設点検記録
絶縁抵抗測定記録	枚	添付資料 ②絶縁抵抗測定記録
接地抵抗測定記録	枚	添付資料 ③接地抵抗測定記録
非常用予備発電機点検表	枚	添付資料 ④非常用予備発電機点検表
絶縁耐力試験記録	枚	添付資料 ⑤絶縁耐力試験記録
定期点検記録	枚	添付資料 ⑥定期点検記録
精密点検記録	枚	添付資料 ⑦精密点検記録
継電器、遮断機試験記録	枚	添付資料 ⑧継電器、遮断機試験記録

印刷画面



名称	機能
①印刷	月次点検報告書を印刷します。
③ 表紙印刷	表紙を印刷します。 印刷設定画面で「表紙を印刷する」にチェックをしていない場合はこのボタンは表示されません。
③常用発電機	常用発電機の点検報告書を印刷します。 このボタンを押すと最大5枚までまとめて印刷します。 設定画面で、常用発電機の台数指定がない場合はこのボタンは表示されません。
④非常用発電機	非常用発電機の点検報告書を印刷します。 このボタンを押すと最大5枚までまとめて印刷します。 設定画面で、非常用発電機の台数指定がない場合はこのボタンは表示されません。
④ 点検完了！	このボタンを押すと、事業上リストで事業場名がグレーに反転して表示されます。 事業場一覧画面に移行します。
⑥印刷設定	印刷に関する設定を行います。 詳しくは次ページの「印刷設定」を参照してください。





名称	機能
①印刷帳票	印刷する印刷帳票のフォーマットを選択します。
②グラフを印刷する	過去一年間の推移表のデータから各月の使用電力量とデマンドのグラフを印刷します。
③報告書に推移表を印刷する	月次点検報告書の下部に過去一年間の使用電力量とデマンドを印刷します。
④フリーフォーマット帳票	ユーザー様をご自身で作成されたエクセル帳票を点検表として利用して報告書を印刷します。
⑤検針値のデータを印刷する	検針メータの電力会社の検針値を印刷するか、現在値のデータを印刷するかを選択します。
⑥記号文字の印刷サイズ	記号文字（①、②等）を印刷するサイズを指定します。 androidのシステムフォントで印刷した場合、記号文字が極端に小さくなる場合があります。これを回避するための機能です。
⑦常用発電機印刷帳票	常用発電機の印刷フォーマットを選択します。
⑧非常用印刷帳票	非常用発電機の印刷フォーマットを選択します。
⑨プリンタ印刷アプリをインストールする	PrinterShare をインストールします。
⑩インストール済みのPrinterShareを削除する	稀に PrinterShare の不具合で印刷ができなくなる場合があります。不具合が発生した時に安定版 PrinterShare をインストールするために、まず削除する機能です。
⑪PrinterShareをインストールする	安定版の PrinterShare をインストールする場合に使用します。

プリンタ設定画面

※プリンタ設定は、あらかじめ設定して出荷しております。通常はこの操作は行なわないでください。

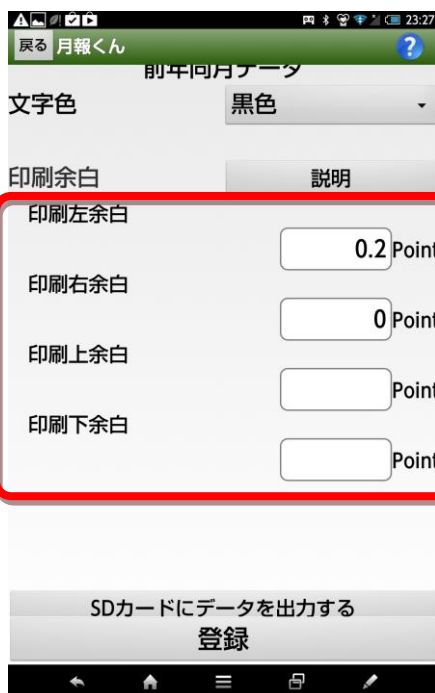
印刷余白の設定



起動時の画面で各種設定をタップします。



システム設定をタップします。



上下左右の余白を設定してください。
設定する数値は、0.1Pointで2mm程度に相当します。

印刷の実行

印刷ボタンをタップする。

※この時点で必ずプリンタの電源を入れておいて下さい。



印刷ボタンをタップ時の確認画面



印刷の確認画面が表示されます

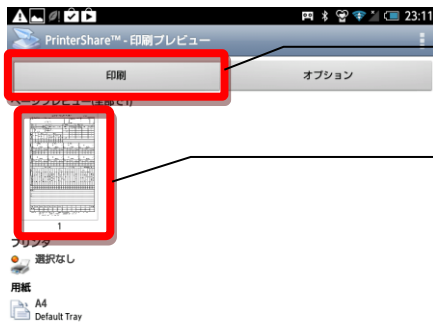
「完了」「未完了」をタップすると印刷を開始する画面に遷移します。

「印刷中止」をタップすると印刷を中止します。

「完了」をタップすると事業場リストの該当事業場がグレーで表示されます。

「未完了」をタップすると事業場リストに変化はありません。

完了、未完了をタップすると下記の画面が表示されます。



印刷をタップすると印刷確認画面が表示され
ます。→印刷確認画面①へ

この部分をタップするとプレビュー画面が表示
されます。→プレビュー画面②を参照ください。

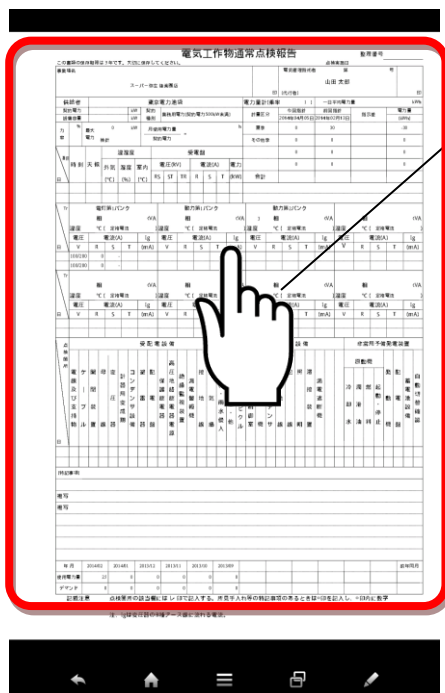


プレビュー画面②

全面に印刷イメージが表示されます。

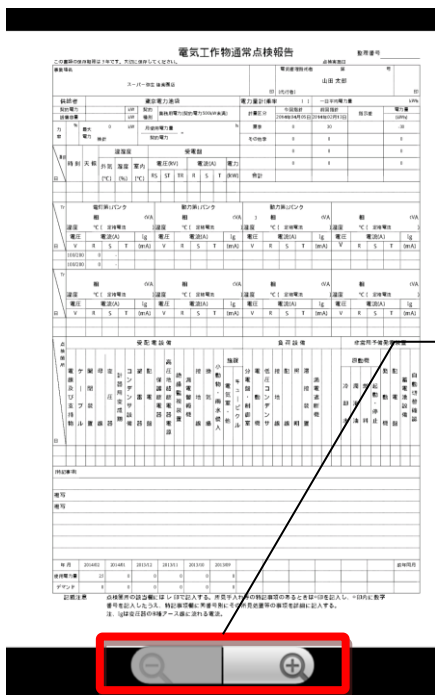


さらに、画面上をタップすると拡大縮小ボタンが表示されます。



このエリアをタップする。

表示を拡大縮小するコントローラーが表示されます。
これをタップすることで表示されている内容をさらに拡大したり縮小したりすることができます。



表示を拡大縮小するコントローラーが表示されます。

印刷確認画面①

スマートフォン・タブレットにプリンタが認識されていない状態の場合は下の画面が表示されます。

以下、プリンタの設定方法を解説します。設定するプリンタは、**キャノン PIXUS iP110**とします。



「近くのプリンタ-WiFi」を選択します。

上の画面で「近くのプリンタ-WiFi」をタップした後、数秒後に WiFi に接続されたプリンタが検出されます。

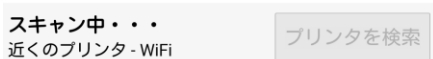


検出したプリンタが表示されます。

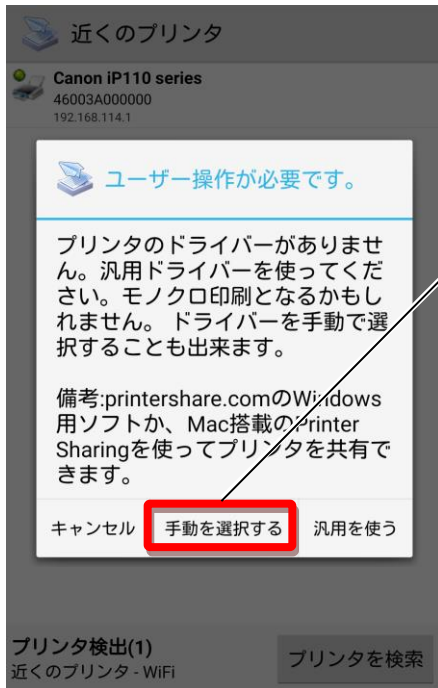
※プリンタはアクセスポイントWi-Fiの設定をして、プリンタの電源を入れておいてください。

アクセスポイント Wi-Fi の設定は、プリンタを購入された家電量販店などで事前に設定してもらって下さい。

アクセスポイント Wi-Fi が設定済みで「プリンタがありません」のメッセージが表示された場合は、この章の最後の『「プリンタがありません」が表示された場合』をご確認下さい。

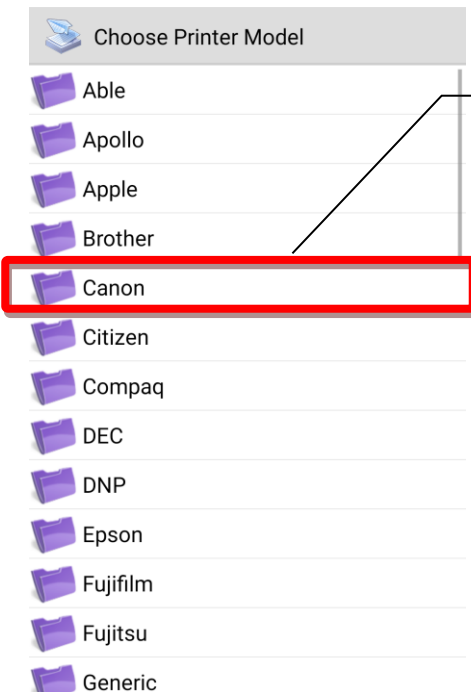


プリンタのドライバを指定します。
3つのボタンのうち、中央の「手動を選択する」を選択して下さい。



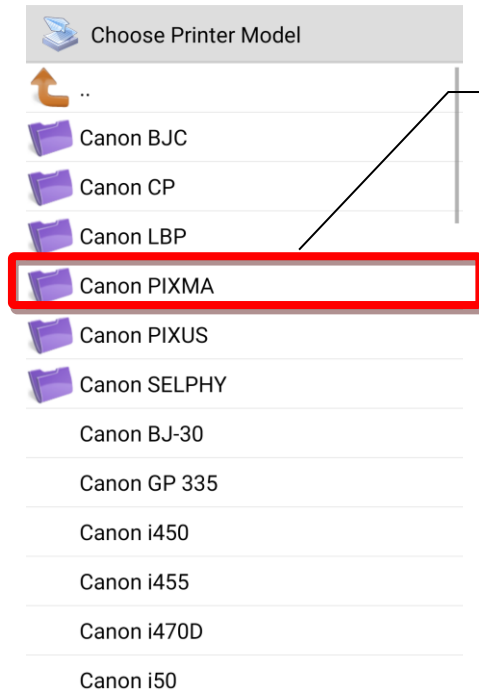
「手動を選択する」を選択します。

プリンタのメーカーを選択します。
リストから「Canon」を選択して下さい。



「Canon」を選択します。

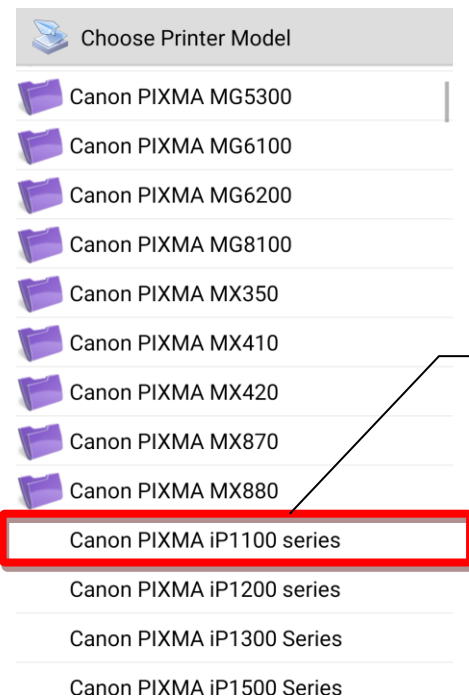
プリンタのシリーズ名を選択します。
リストから「Canon PIXMA」を選択して下さい。



「Canon PIXMA」を選択します。

※「PIXUS」ではなく「PIXIMA」を選択して下さい。

プリンタの機種名を選択します。
リストから「Canon PIXMA iP1100 series」を選択して下さい。



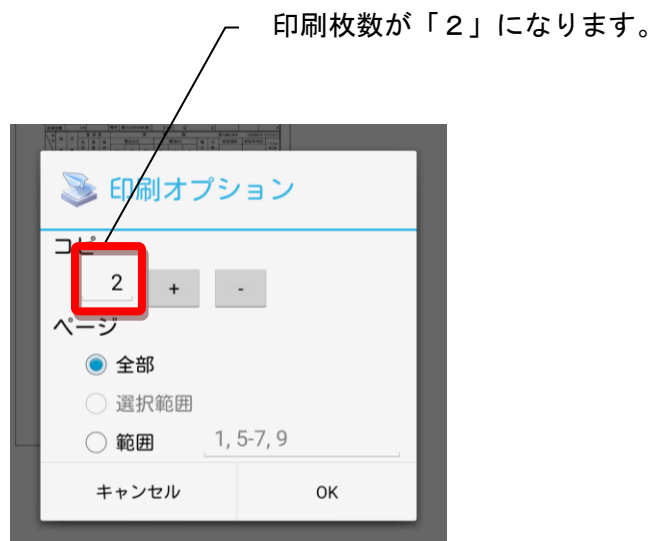
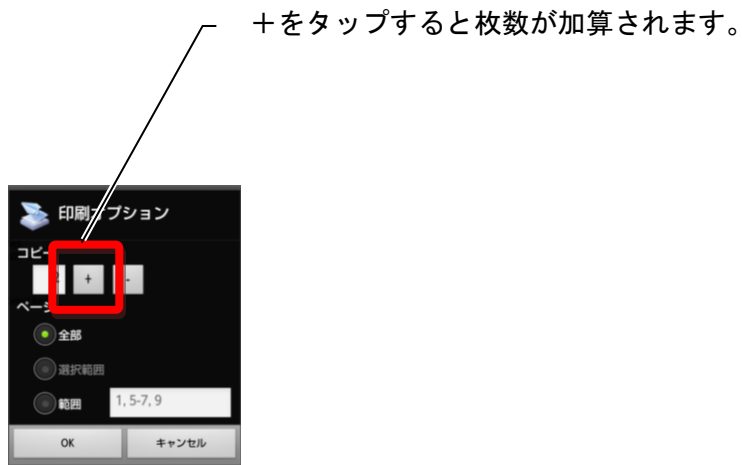
「Canon PIXMA iP1100 series」を選択します。

印刷オプションを設定します。

コピーの欄で枚数を設定することが可能です。

「+」をタップすると印刷枚数が1枚増えます。「-」をタップすると印刷枚数が1枚減ります。

OKをタップするとプリンタにデータを送信して印刷を開始します。



「プリンタがありません」が表示された場合

キヤノン PXSUS iP110 の Wi-Fi スキャン時に「プリンタがありません」のメッセージが表示された場合は、スマートフォン・タブレットがプリンタ以外の他の Wi-Fi に接続されている事が原因です。

ご自宅に Wi-Fi ルーターがある場合、スマートフォン・タブレットは、自動的にご自宅の Wi-Fi ルーターに接続されます。ご自宅の Wi-Fi ルーターは、プリンタのアクセスポイント Wi-Fi とは別の Wi-Fi 環境ですので、プリンタを見つけることができません。(また、逆にスマートフォン・タブレットがプリンタのアクセスポイント Wi-Fi に接続している時には、プリンタで印刷はできますがインターネットに接続することができません。スマートフォン・タブレットをインターネットに接続するためにはご自宅の Wi-Fi に接続する必要があります)

ここでは、プリンタの Wi-Fi アクセスポイントに接続する方法を解説します。

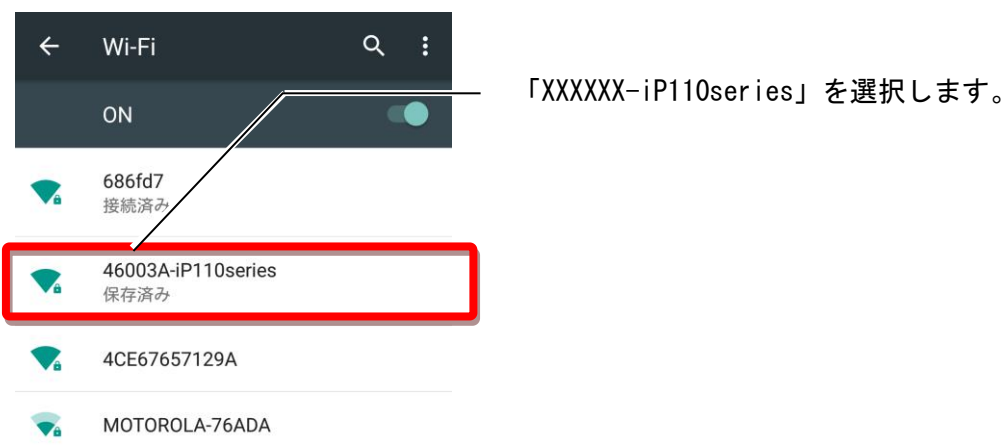


「無線とネットワーク」の「Wi-Fi」をタップします。

スマートフォン・タブレットのメーカー・機種、AndroidのOSのバージョン等によって表示内容・位置が異なる場合があります。どの機種にも必ずありますので見つからない場合は、インターネットで調べるかお近くの家電量販店で聞いて下さい。



キヤノン PIXUS iP110 のアクセスポイント「XXXXXX-iP110series」を選択します。
※「XXXXXX」の部分は、プリンタ 1 台ごとに異なります。



プリンタのアクセスポイント Wi-Fi から、ご自宅の Wi-Fi に切り替える場合

上と同じ操作を行って、ご自宅の Wi-Fi を選択して下さい。

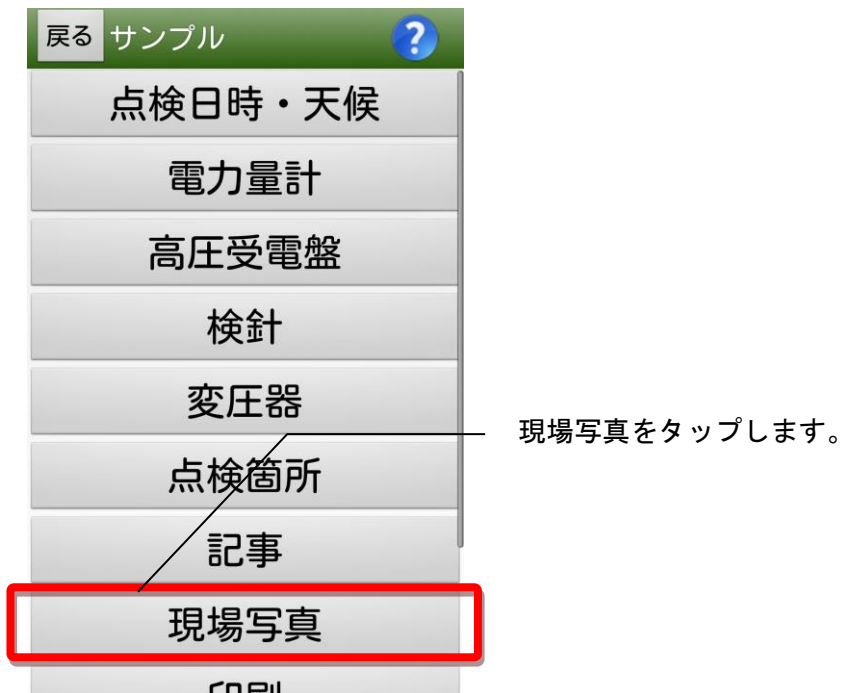


「XXXXXX-iP110series」以外の Wi-Fi (ここでは 686fd7) を選択するとご自宅の Wi-Fi に接続されインターネット等を利用することができます。(この状態ではプリンタで印刷することはできません)

現場写真

現場の指摘事項を撮影して、画像としてお客様に提出することができます。
文書ではなかなか伝わりにくい現場の状況をひと目で確認できる資料として利用して下さい。

現場写真ボタンをタップする

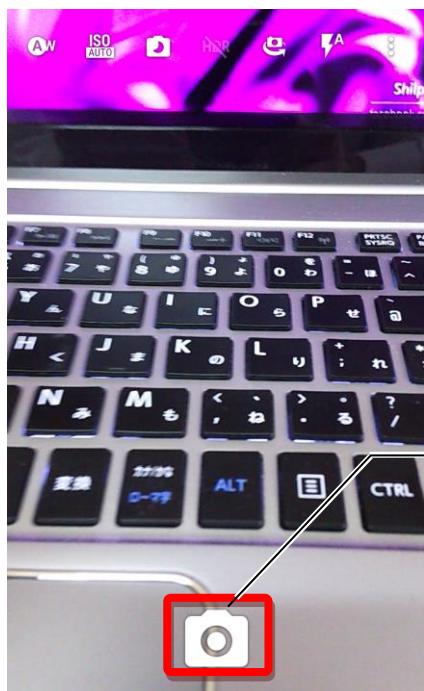


撮影するをタップします。

撮影するをタップします。



Android 内蔵のカメラアプリが起動します。
画面下のカメラマークをタップして指摘箇所を撮影します。



画面下のカメラマークをタップして指摘箇所を撮影します。

撮影すると、画面下に保存かキャンセルかの確認が表示されます。
撮影した画像が良い場合は「保存」をタップして下さい。
撮影した画像が鮮明でないなど撮影しなおしたい場合は「キャンセル」をタップして撮影しなおして下さい。



撮影した画像が良い場合は「保存」をタップして下さい。

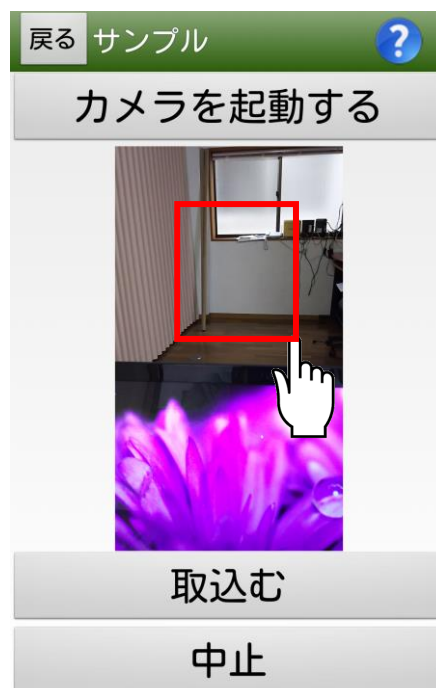
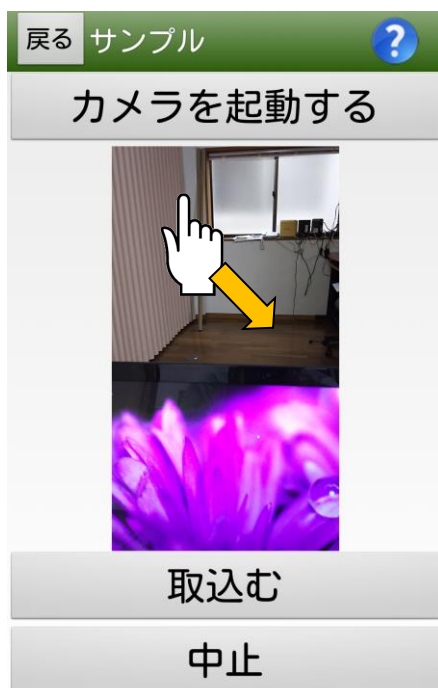
撮影した画像が鮮明でないなど撮影しなおしたい場合は「キャンセル」をタップして撮影しなおして下さい。

上記画面で「保存」をタップすると下の画面が表示されます。
ここで画像を撮りなおしたい場合は、カメラを起動するをタップして下さい。
カメラを起動するをタップするとカメラアプリが起動して画像を撮りなおすことができます。

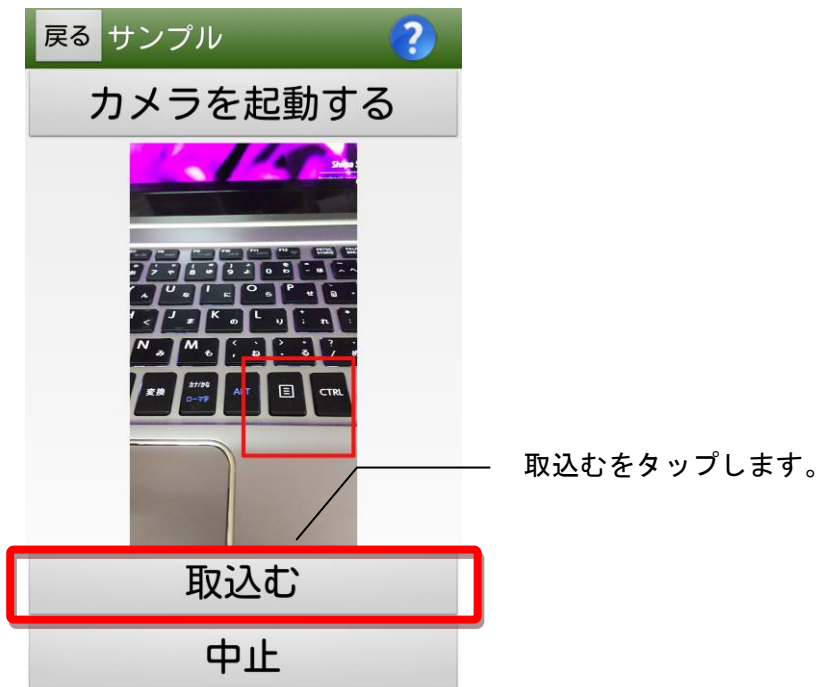


画像を撮りなおしたい場合は、カメラを起動するをタップして下さい。

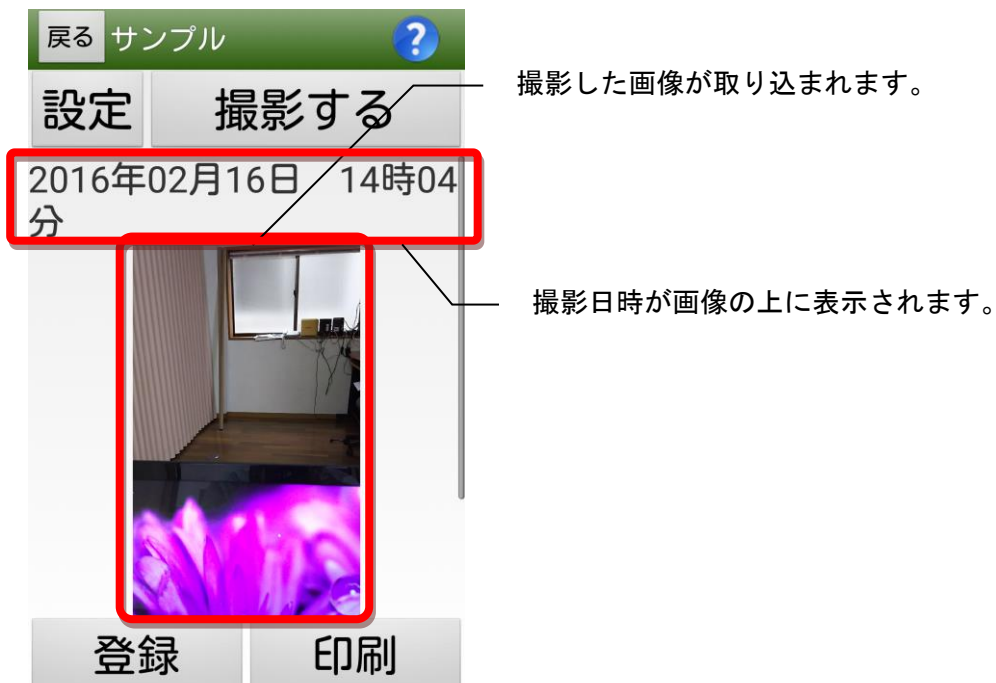
この画面では、画面上で指をスライドさせることにより、赤枠を描画することができます。
指摘事項を範囲指定して強調させたい場合にご利用下さい。



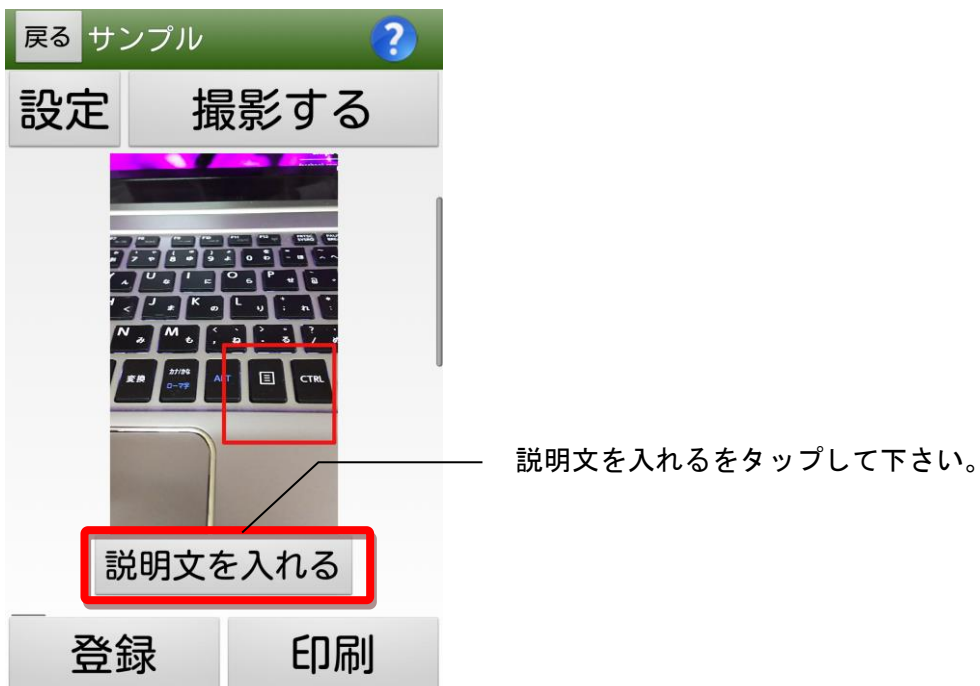
この画像で問題なければ、取込むをタップして下さい。



撮影した画像が取り込まれます。
撮影日時が画像の上に表示されます。この日時は変更することはできません。



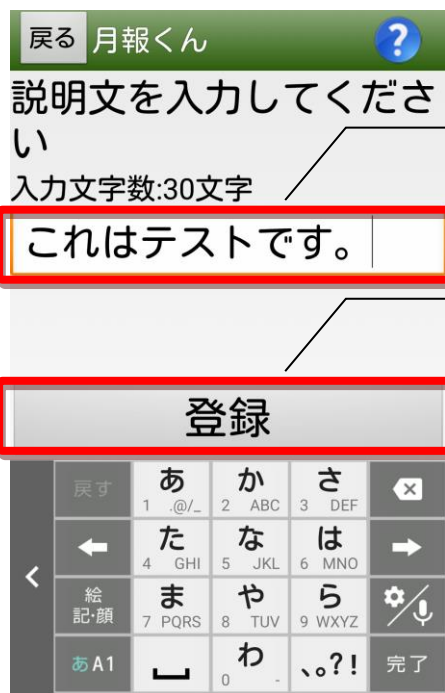
画像についての説明文を付けたい場合は、説明文を入れるをタップして下さい。



文字入力をする際にここをタップして下さい。



指摘内容を入力して下さい。



ここに指摘内容を入力して下さい。

入力が終わったら登録をタップして下さい。

報告書の印刷は画面下の印刷をタップして下さい。



以上で現場写真の報告書を印刷することができます。



月次点検報告書
作業実施内容・指摘事項等

事業場名 サンプル



撮影日： 2014年02月16日 14時06分
報告内容・指摘内容
これはテストです。

撮影日：
報告内容・指摘内容

A preview of a report page. The page title is '月次点検報告書' (Monthly Inspection Report) with a subtitle '作業実施内容・指摘事項等' (Work Implementation Content, Points for Improvement, etc.). The project name is '事業場名 サンプル' (Project Name: Sample). A thumbnail image shows a grid of photos with a red box highlighting one. The text below the thumbnail reads: '撮影日： 2014年02月16日 14時06分' (Shooting Date: 2014/02/16 14:06), '報告内容・指摘内容' (Report Content/Points for Improvement), and 'これはテストです。' (This is a test.). Below the thumbnail, there is another line of text: '撮影日：' (Shooting Date:) and '報告内容・指摘内容' (Report Content/Points for Improvement).

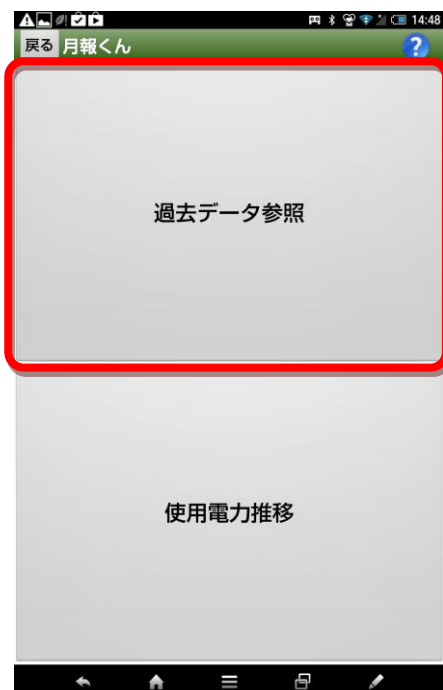
その他の機能

過去の点検データを読み込む
点検済みデータは、スマートフォン・タブレット内に保存されており読み込み・印刷することもできます。



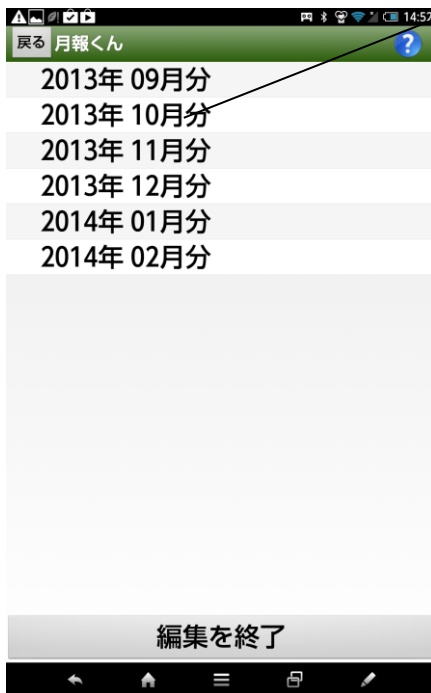
過去データをタップします。

過去データ参照と使用電力推移を表示するボタンが表示されます。



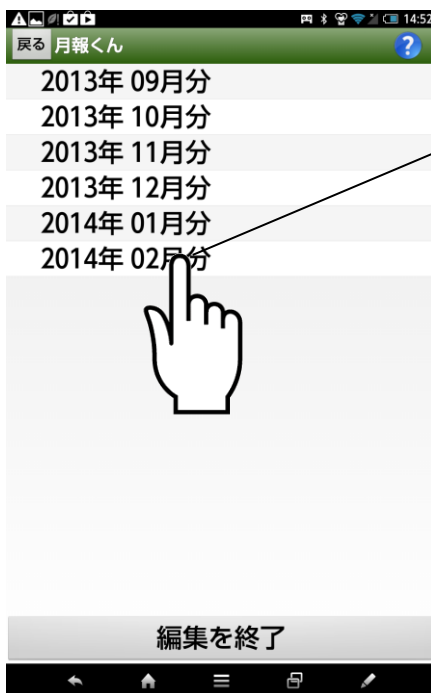
過去データ参照をタップします。

過去に点検済みのデータのリストが表示されます。



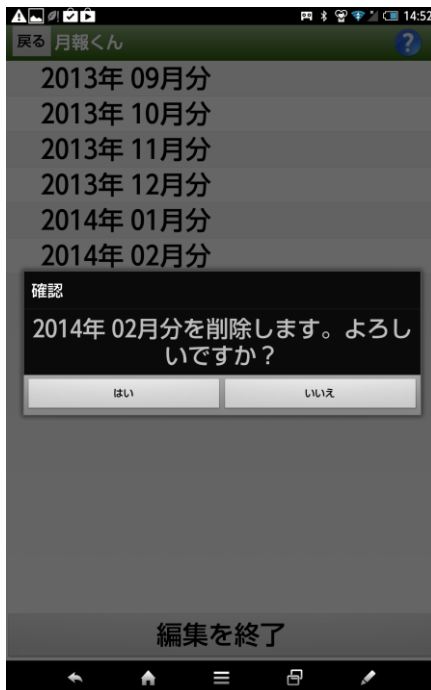
③過去データを選択すると、選択した月のデータを編集・印刷することができます。

過去データを削除する



削除するデータを1秒以上押し続けます

削除の確認画面が表示されます。「はい」をタップするとデータが削除されます。「いいえ」をタップすると削除されずに元の画面に戻ります。



「	
「点検日を採用する」と「検針日を採用する」の違い	60
い	
印刷画面	95
印刷の実行	98
き	
記事の画面	83
記事の複写と貼付の機能	84
け	
携帯番号	13
契約電力	48
契約電力確定日	48
結果報告書 1 画面	93
月次点検の該当月かどうかを表示する	42
検針日	48
こ	
高圧受電盤なし	51
口座番号	13
今回検針日	52
今回指示①	52
今回指示②	52
今回指示③	52
今回指示④	52
今月昼間無効電力量	53
今月昼間有効電力量	52
さ	
最大需要電力	52
し	
事業社名	13
事業場情報並べ替え	19
事業場の削除	18
事業場の登録	18
事業場の編集	18
住所	13
終了	9
主任技術者名	13
常用発電機の入力	88
乗率	48
初期設定	10
所属協会 1	13
所属協会 2	13

す	
ステータスバー	9
せ	
設定情報	9
設備容量	48
前回検針日	52
前回指示①	52
前回指示②	52
前回指示③	52
前回指示④	52
ち	
力率	51, 52
て	
定型文の選択	85
定型文の登録・編集	86
電圧 R-S	51
電圧 S-T	51
電圧 T-R	51
点検箇所 1 の画面	74
点検箇所に異常がある場合	75
点検作業を実施する	40
点検事業場を選択する	41
点検者情報の登録	10
点検済み事業場の表示方法	44
点検測定記録表	67
点検日時の入力	45
点検を行う	9
電流 R	51
電流 S	51
電流 T	51
電力	51
電力会社検針を入力する	52
電力量計画面を入力する	48
電話番号	13
と	
登録番号	13
トランスデータを入力する	70
は	
発電機の入力	87
ひ	
非常用発電機の入力	90

ふ	
FAX 番号	13
プリンタ設定画面	97

め	
メータ交換時の入力方法	57
メータ交換	53

メータ交換画面	56
メニューバー	9

も	
戻る	53